

福祉 ぐんま


NO.230
2009 秋号

 社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会

■主な内容

- * 地域福祉を支える社会福祉施設のあり方とは・・・2～3
- * 「長寿・子育て・障害者基金」事業報告・説明会を開催・・・4
- * 独立行政法人福祉医療機構 長寿・子育て・障害者基金「地域活動助成（旧 地方分）」を募集・・・5
- * 群馬県福祉大会・・・6 * 社会福祉協力校・・・6
- * 共同募金会からのお知らせ・・・7
- * 素敵な笑顔・・・8 * 福祉フィルムライブラリー・・・8 * 福祉まめ知識・・・8

堤ヶ岡保育園
小山 勝彦さん
(関連記事は8ページに掲載)

 「福祉ぐんま」の作成経費として共同募金配分金を使用しています。



～「地域福祉における社会福祉施設のあり方セミナー」から～

県社協では平成19年度より、各施設関係部会・分科会の代表者による「地域福祉における社会福祉施設のあり方検討会」を設け、情報交換を行っています。

そこで出された各種別や地域におけるそれぞれの取り組みの報告会として、8月11日に群馬県社会福祉総合センターホールにおいて約90名の参加者を集め、本セミナーを開催しました。

①報告内容・各報告者について

【障害】(渋川市における障害者施設のなんでも相談事業等の取り組み)
障害者支援施設「誠光荘」

施設長 真下宗司氏

【保育】(前橋市における私立保育園長会の子育てひろば等の取り組み)
二之宮保育園園長

村中祐邦氏

【老人】(愛老園におけるネットワークの取り組み)
特別養護老人ホーム「愛老園」施設長 羽鳥 守氏

【市町村社協】(沼田市における認知症にやさしい地域ネットワーク等の取り組み)
沼田市社会福祉協議会

事務局長 木村敬史氏

②ディスカッション

◇コーディネーター・高崎経済

大学教授 熊澤利和氏

◇助言・群馬県社会福祉協議会
常務理事 深堀 充



○社会福祉法人は…

社会福祉法人は、戦後の社会福祉事業を中心的に担ってきた公共性、透明性の最も高い民間法人であり、非営利性を持った特別法人です。社会福祉事業の「純粋性」を保つてその「公共性」を高めるために設けられました。他の営利法人等とは違う固有の存在意義を今後より一層確立していくことが求められています。

○社会福祉施設の方向性は…

社会福祉法人が経営する社会福祉施設はこれからは地域において信頼され、利用者を始めとして地域の人々にとってのかけがえない社会資源となるよう、地域福祉との関係性の中で今後の具体的な取り組み内容を明確化する必要性があります。



福祉の人材を育てることも施設の地域貢献のひとつ
誠光荘 真下施設長

社会福祉施設はその利用者に対する支援により、地域貢献を行ってきたと思います。しかし、施設はその住所がある地域の住民でもありません。したがって、隣近所との関係性を持つことはとても重要なことだと思っています。

私たちは渋川広域地区の障害者施設の連携を図り、三十七の施設が加入するNPO法人を設立しました。我々の持つ専門性とネットワークを活かした「なんでも相談室事業」等を実施しています。相談件数はのべ四千件にもなりました。

また、社会福祉施設において重要な地域貢献の一つに福祉人材を育てることがあると思っています。つまり、施設で育った人材が他の職場に行ってもしっかりと活躍出来るような職員の発掘や教育を行うことこそ、施設が問われていることなのだと思います。

いかに安心して生活できる
地域を作るか

愛老園 羽鳥施設長



社会福祉法人は公益性が高く
いわば公的なものであり、地域
を活性化するために施設のノウ
ハウを地域に還元することが施
設の使命であると考えています。
愛老園では、市と協力して生
きがいデイサービス（たかの
ホーム）を設置しています。ま
た、施設の前にある県営住宅に
入居している高齢者と契約し、
緊急時に駆けつけて支援する体
制を作っています。また、近隣
の市営団地において高齢者自身
による高齢者のための見守り体
制を構築するための支援を行い
利用者との協力を重ねています。
我々施設は、自分たちの利益
だけを考えるのではなく、得た
ものは地域に還元する、そして
社会福祉法人としての理念を再
認識し、安心して生活できる地
域作りに施設が貢献できるあり
方を検討し、進めていかなけれ
ばならないと考えています。

入所児童だけでなく、
地域の子どもも自分たちの子ども

二之宮保育園 村中園長



設し運営しています。利用者は二十万人を超えました。

「ひろば」を開設するに当たって、民間企業で開発された運営方法
等を参考にしましたが、内容的には保育関係者が長年培ってきた子育
て支援のノウハウの方が勝っていると思えました。保育園の専門性は
高く、積極的に地域社会に還元する必要があると思っています。

また、私の園では園庭開放を行っています。来園したお母さんから
お手紙をもらった時のことですが、日頃から大変だなど感じていた担
当の保育士も手紙を読んでから取り組む姿勢が変わりました。職員の
モチベーションも上がり、やればやるだけの効果はあると感じていま
す。

社協として専門家との連携の必要性も

利根沼田地区で平成十五年に認知症の高齢者が所在不明となるよう
な事故が起き、日頃からの見守るシステムが必要だという認識を持つ
ようになりました。

そして、平成十七年に「沼田市認知症にやさしい地域づくりネット
ワーク事業」が沼田市内の四十七を越える社会福祉の関係団体や機関、
警察や消防、民間企業等も加わって発会いたしました。本日まで
八十三件の所在不明の協力依頼の情報発信が行われています。

やはり、高齢者が住みなれた地域で安心して生活するために地域住
民が多く目の見守り、支援してい
くことが重要であると考えていま
す。

しかし、地域の福祉力を高めること
について行き詰まっている感もあり、
これからは社協として施設との壁を無
くし、より連携を深めていくことも必
要だと思っています。

沼田市社協 木村事務局長



職員の研修や体制は
どうするのか

高経大 熊澤教授

施設の職員は、施設内で専門
職としての能力が発揮できるよ
うに教育されていると思います。
しかし、これからの施設は、ま
さに地域社会の資源として色々
なことが問われていると思いま
す。地域社会に開かれた施設と
して位置づけていくために、こ
れからの様な考え方で、職員
研修やその体制を構築してい
くことが必要なのではないかと
思います。

また、大学も社会資源の一つ
として、教員も一緒に考え、協
力していくことが必須であると
感じています。



地域に「いねい」に対応してい
くことの大切さ

県社協 深掘常務



「地域貢献」といっても特別
なことをするというのではなく、
納涼祭等への協力や各種体験学
習の受け入れというような地域
社会とのつながりについて、
「いねい」に対応していくという姿
勢が施設にとって大切なことだ
と思っています。

〇やみこ...

社会福祉施設が「地域貢献」
的な事業を展開することにより、
地域住民からの信頼度が高まり、
ひいては地域に支えられる存在
にもなり得ます。

また、逆に地域との関係性の
中から様々な刺激を受けること
により、支援の質の向上や職員
のモチベーションを上げること
にもつながり、結局は施設の総
合力が高まることになると思わ
れます。

(文責：施設支援グループ)



独立行政法人福祉医療機構

「長寿・子育て・障害者基金」事業報告・説明会を開催しました

平成二十一年八月二十五日(火) 県社会福祉総合センターで、独立行政法人福祉医療機構主催の「長寿・子育て・障害者基金」事業報告・説明会が開催されました。概要は次のとおりです。

基調講演

基調講演では、群馬県立女子大学ぐんま学センター副センター長・准教授で特定非営利活動法人NPOぐんまの熊倉浩靖さんより、「地域の活動を応援しあおう」と知恵やネットワークを活用しあいながら」と題してお話をいただきました。非営利活動団体も企業と同じように、組織として継続し続けていくことが前提となる以上、自分たちの活動が続いていくことで「これだけの成果をあげられます」というPRをもっと積極的に行っていくことが大切であることを学びました。また、運営についても「助成金をください」というスタンスではなく、「私たちに投資をしてください」といった営業活動に力を入れていく姿勢も、今後はいっそう求められてくることも講演の中で話されました。



助成事業の活動報告

●発表団体①特定非営利活動法人 マミーズ・ネット
(新潟県上越市・平成十九年子育て支援基金)

マミーズ・ネットでは「子どもも私も大切に」をテーマに、当事者同士が助け合い、地域とも支え合えるような環境づくりに力を入れています。子育てをしていく中で、子どもの遊び場はたくさんあるものの、親の居場所がないことに気が付きました。そんな声にこたえるために、2007年「子育て応援ひろば ふう」を開設。こ

こでは子どもの安全を見守るスタッフがいる中で、本を読んだり親同士がゆつくり話し合ったりできます。今では利用者同士が仲良くなり手芸クラブが生まれた活動も広がっています。

●発表団体②特定非営利活動法人 よろずや余之助

(群馬県太田市・平成十九年高齢者・障害者福祉基金)

よろずや余之助では、地域の人たちが気軽に集まれる場として「余之助茶屋」を開設し、よろず相談を行ったり、「お手軽公民館」と名付けたミーティングスペースを提供したりしています。困っていることや心配ごとを、和室でくつろぎながらじっくり聞いてあげられるのが余之助の強み。行政でも悩み相談はしていますが、同じようにやっては意味がありません。自分たちらしさを発揮しながら、人の

ためになることをできるのがNPOのいいところです。

歌声喫茶やフォーク喫茶に続いて始めた映画喫茶では、なかしの映画をみんなで鑑賞した後に、映画の感想とあわせておしゃべりを楽しみながら交流を深めてもらう活動もしています。



助成事業等の説明・個別相談会

ここでは、福祉医療機構より助成事業の概要について説明がありました。地域福祉の活性化のために、積極的な助成金の活

用についてお願いがあったほか、来年度募集分より、これまでの「地方分助成」の名称は「地域活動助成」へと変更になることなども説明がありました。その後、財団法人助成財団センターや群馬県共同募金会からも、それぞれの事業についての説明や助成金情報等の紹介がありました。事業報告・説明会終了後も、個別相談ブースを設け、最後まで参加された方々の質問や相談に対応されており、非常に有益な時間となりました。



平成22年度 独立行政法人福祉医療機構 長寿・子育て・障害者基金「地域活動助成(旧 地方分)」 を募集しています

◎**募集期間** 平成21年9月1日(火)～10月31日(土)(当日消印有効)

◎**助成対象事業者**

社会福祉法人、一般社団法人または一般財団法人、特定非営利活動法人、法人格のない任意に設立された団体で、助成事業の実施体制が整っている法人又は団体

◎**助成対象事業**

1. 高齢者・障害者福祉基金

- ①「地域の福祉・介護のネットワーク形成に関すること」
- ②「緊急に充実を図る必要のある高齢者、障害者在宅福祉の推進に関すること」
- ③「高齢者、障害者の社会参加の促進に関すること」
- ④「民間非営利団体等による地域の福祉・介護に関すること」

2. 子育て支援基金

- ①「地域や家庭における子育て支援事業に関すること」
- ②「青少年の非行防止・健全育成事業に関すること」
- ③「児童虐待防止対策など要保護児童対策等事業に関すること」
- ④「ひとり親家庭等自立支援事業に関すること」

3. 障害者スポーツ支援基金

- ①「障害者スポーツの育成・強化事業に関すること」
- ②「障害者スポーツに対する意識高揚に関すること」
- ③「地域におけるスポーツを通じた障害者の社会参加の推進に関すること」



◎**助成額** 1事業年度200万円を上限として助成します。 ※複数年助成もあります

◎**助成対象となる事業の実施期間**

平成22年4月1日以降に開始し、平成23年3月31日までに完了する事業

◎**選定方法**

県内推薦審査委員会において審議・推薦し、独立行政法人福祉医療機構の審議を経て決定します。
(県内推薦枠は、高齢者・障害者福祉基金7団体、子育て支援基金6団体、障害者スポーツ支援基金1団体、モデル事業「高齢者・障害者福祉基金」1団体、「子育て支援基金」1団体)

◎**申込方法・その他**

募集要領・応募様式は独立行政法人福祉医療機構ホームページからダウンロードできます。
福祉医療機構ホームページURL <http://www.wam.go.jp/wam/>

所定の申込用紙に必要事項を記入し利用支援グループまでご提出ください。(平成21年10月31日(土)消印有効) またご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

◎**福祉医療機構** 基金事業部 基金支援課 電話03-3438-9945・9946

◎**群馬県社会福祉協議会** 利用支援グループ 電話027-255-6226 (担当：澁谷)

平成二十一年度
群馬県社会福祉大会

永年にわたり社会福祉の推進に功績のあつた方々を表彰して、感謝の意を表するとともに、だれもが夢と希望をもって暮らせる地域社会の実現をめざして開催します。

【テーマ】

「だれもが夢と希望をもって、安心して暮らせる地域社会をめざして」

【主催】

群馬県・群馬県教育委員会
群馬県社会福祉協議会
群馬県共同募金会

【期日】

平成二十一年十一月十九日(木)
午前十時三十分～午後二時三十分

【会場】

前橋市民文化会館 大ホール

【内容】

第一部 記念講演

演題

「であいふれあいひびきあい」
—「のど自慢」十二年の旅から—

講師

宮川泰夫
(元NHK
アナウンサー)



第二部 式典

【連絡先】

群馬県社会福祉協議会(大会事務局)
前橋市新前橋町十三・十二

☎027・2555・6033

社会福祉協力校



桐生市立川内北小学校

本校は、桐生市の北西に位置し、渡良瀬川の支流「山田川」が流れる山間に面した小規模校です。

福祉教育の目標

子供達が、仲良く助け合い、思いやりの気持ちを持ち、心豊かに生活できることを目標にしています。具体目標を次のように立て、プロジェクトに取り組んでいます。

「低学年」友達と仲良く助け合い、身近にいる幼い子や高齢者に温かい心で接し、親切にする。

「中学年」相手のことを思いやり親切にし、正しいと思うことは、勇気を持って行う。

「高学年」謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にし、社会に奉仕するよるこびを知って、公共のために役立つように努める。

取り組み内容の紹介

社会福祉協力校として、今までの活動を見直し、生活科、総合的な学習の時間、道徳、特別活動等において、体験活動をより充実させることに取り組んできました。

その中の一つは、地域の高齢者団体「川寿会」との交流です。毎年楽しみにする行事の一つとなっています。お年寄りの方から「子供達から元気をもらいました。」「次に来るのが楽しみです。」いつでも呼んでください。」等と感想をいただきました。

体験活動の充実として、車いす・ブラインドウオーク体験等も取り入れています。このような体験を通して、障害を持った人への理解を深めると共に、バリアフリーの視点で自分達の生活を見直す機会となりました。また、校内緑化活動では、各学年ごとに学級園や花壇の手入



れ、担当するプランターや鉢植えの草花の栽培を行い、より良い環境作りに取り組ましました。

そして、指定を受けた一年目と二年目には、福祉講演会を計画し、実施しました。目の不自由な方が盲導犬を連れてお話をしてくださったり、ボランティアに取り組みされている方からお話を伺ったりしました。



3力年の成果と課題

学校での日常活動を福祉の視点から見直し、身近な奉仕活動や体験活動の充実を努めてまいりました。

子供達は、学校生活や家庭生活の全てにおいて、相手のことを思いやって行動することが大切であることを理解し、実践できるようになってきました。

ぐんま子育て支援センター連絡会の設立(七月二日)について

◆設立の経緯

子育て支援センター同士の連携や職員研修等がほとんど実施されていないという課題があり、平成十九年度より二年間、県社協と県保協で共同して支援センターの今後の方向性等を考察検討してきました。

その結果、県域の連絡会の必要性が認識され、設立に至りました。

◆連絡会のこれから

子育て支援拠点事業は平成二十一年度より第二種社会福祉事業となり、地域の「センター」としての存在意義やその専門性が問われることとなります。

については、情報交換会・研修会等の実施や子育て関係団体・機関等との連携、また独自で子育て支援を行っている認可保育所への支援等も行い、地域における児童福祉の増進に寄与する活動を行っていく予定です。



設立総会(7.2)の様子

共同募金

赤い羽根情報



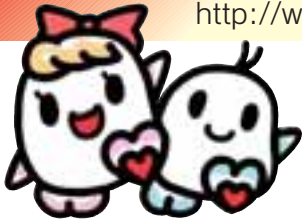
赤い羽根
共同募金

10月1日▶12月31日

<http://www.akaihane-gunma.or.jp/>

社会福祉法人 群馬県共同募金会

前橋市新前橋町13番地の12
群馬県社会福祉総合センター4階
TEL027-255-6596 FAX027-255-6214
e-mail:info@akaihane-gunma.or.jp



平成21年度共同募金運動

10月1日にスタート!ご協力よろしくお願ひします

「地域の福祉、みんなで参加」

今年も、赤い羽根募金運動がはじまりました。
みなさまのご協力をよろしくお願ひします。

◆赤い羽根「たすけあいの輪」づくり 活動支援特別配分◆

「たすけあいの輪」をつくる地域福祉活動を支援します。

配分対象	対象事業と例示	申請方法
◆配分年度◆ 平成22年度 ◆配分対象事業◆ 市町村域や小地域(小学校区域や日常生活圏域)で実施する事業で、単なる物品等整備に止まらず、地域に密着した人的ネットワークを活かした諸活動を行うもの ◆配分対象者◆ 市町村社協、NPO法人、ボランティア団体、自治会等 地域団体、PTA等	①地域住民で行う防災・防犯活動 例)・児童の登下校時のパトロール ②高齢者、子ども、障害者等の生活・自立支援、見守り活動 例)一人暮らし高齢者への随時訪問 ③①②の活動を推進するために実施する研修会及びネットワーク活動 例)日常生活支援ボランティアの登録及び養成講座	◆配分限度額◆ 申請にかかる経費の90%以下(上限20万円) ◆申請方法◆ 所定の申請様式により、群馬県共同募金会に提出(郵送可) ◆申込締切◆ 11月30日(月)

▶詳細は群馬県共同募金会事務局まで

今年の募金目標額 332,019,000円

(一般募金198,000,000円、歳末募金134,019,000円)

平成21年度共同募金配分計画

項目	件数	配分予定額(円)
■一般募金配分		
施設整備配分	16	36,056,000
車両整備配分	11	17,125,000
備品整備配分	38	20,682,000
事業経費配分	45	24,303,000
運営費配分	31	1,525,000
社会福祉協議会配分	59	53,680,000
特別配分	60	12,000,000
■歳末たすけあい配分		
地域歳末たすけあい配分		120,846,000
NHK歳末たすけあい配分		5,000,000
■災害等準備金		
法定災害等準備金積立等		12,000,000
■募金運動推進費		
募金運動推進・募金管理経費		50,198,000
合計		353,415,000

(財源内訳) 平成21年度募金 332,019,000円
災害等準備金取崩・繰越金 21,396,000円

※一般募金、地域歳末たすけあい、NHK歳末たすけあい及び前年度繰越金等を財源とする配分です。なお、施設整備配分及び備品整備配分には、NHK歳末たすけあいを含みます。

●「赤い羽根データベースはねっと」で全国の配分データが検索できます。

<http://www.akaihane.or.jp/hanett/>

●あなたのまちで、募金がどのようにつかわれているか、群馬県共同募金会のホームページでご覧いただけます。

<http://www.akaihane-gunma.or.jp/>



赤い羽根 Letter ~ありがとうメッセージ~



障害福祉サービス事業所ぷらーな(前橋市)楽器購入

今回の募金で購入できた楽器類によって重いハンディを持った人達のための音楽療法の内容を充実させることができました。利用者さんの奏でる楽器の音の波動のように笑顔の輪が広がり、喜びに満ちた空間が生まれました。皆様からの貴重なご支援にこころより感謝申し上げます。

堤ヶ岡保育園 小山 勝彦さん

秋号表紙

素敵な笑顔



小山勝彦さんは現在、高崎市にある堤ヶ岡保育園の保育士さんです。仕事を始めて13年目。昨年には結婚され、また今年度の群馬県保育協議会保育士分科会副会長を務めるなど、公私共に充実した日々を送っています。

※このお仕事に就かれたきっかけは？

小学校の頃から子どもに何かを教える仕事が好きでした。はじめは小学校の先生になりたかったのですが、高校生の時、保育園でお世話になった先生と話す機会があり、保育士という仕事に興味を持ちました。

※当時は男性の保育士は少なかったのでは？

入学した保育専門学校では全体の1割ほどで、卒業時にはもっと少なくなりました。現在、保育士の仕事をしているのは、自分も含めて2~3人だけだと思います。

※保育士の仕事のやりがいとは？

いろんな子どもがいるので、毎日楽しいです。運動会や発

表会などで、最初は何もできなかった子どもができるようになって、大変だけど「よかったな」という達成感があります。最初に担任した子どもは高校生になっていて、送迎のバスに向かって「先生ー」って、手を振ってくれるのもうれしいですね。

※これから保育士を目指す男性へ、一言。

自分に向いている仕事だと実感していません。保育士以外の仕事をしている自分は、考えられないですね。防犯対策や力仕事などこれから男性保育士の需要も増えてくると思います。ただ、経済的には厳しいので、家庭を持った男性が一生の仕事としてやっていけるような環境になってほしいと思います。

取材した日は、間近に迫った運動会の練習の最中でした。元気に練習する賑やかな子どもたちの声を聞きながらの取材でしたが、やさしい笑顔が印象的な小山さんでした。きっと、子どもたちにとって「頼りになる良きお兄さん」的存在なのでしょうね。

福祉フィルムライブラリーより 新着ビデオのお知らせ

おすすめビデオのお知らせ

499 『福祉にかかわる仕事⑤ 盲導犬訓練士』(20分)

企画・制作/日本生命労働組合



わかりあえる明日のために
盲導犬訓練士は、盲導犬の世話や訓練だけでなく、視覚障害に対する知識も求められます。視覚障害がある人の行動範囲を広げ、生活環境を変えることができる仕事です。

このビデオは「福祉にかかわる仕事」について子供たちに理解して考えてもらうことを目的に制作されています。

他にも貸出ビデオを取り揃えております。所蔵ビデオのご案内は、群馬県社会福祉協議会のホームページでもご覧いただけます。

貸出をご希望の方は、予め貸出状況をご確認の上、ご来館ください。

なお、着払いによる発送貸出もしておりますので、ご相談ください。

貸出は原則として1週間、5本までとなります。

(連絡先) 人材育成グループ
027-255-6035
<http://www.g-shakyo.or.jp/>



福祉まめ知識

「トワイライトステイ」とはなんですか。

保護者が仕事等の理由により恒常的に夜間に帰宅するため、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合に、その児童を児童福祉施設等において、生活指導、夕食の提供等を行うサービスです。

当初は父子家庭を対象に行われましたが、その後、子育て支援短期利用事業の一つとして拡大されています。

編集/発行 社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会

〒371-8525 (専用郵便番号)
群馬県前橋市新前橋町13-12
群馬県社会福祉総合センター内
TEL 027-255-6033(代表)
FAX 027-255-6173
URL <http://www.g-shakyo.or.jp/>
E-mail soumu@g-shakyo.or.jp
発行日 平成21年10月1日